養育費等に関する申告書

(表面)

※ えびの市

※ 受付年月日 令和 年 月 日

○ 前年(1月から12月までの1年間)に受け取った養育費について、裏面の記入要領に従い、 受け取った月ごとに記入してください。

養育費を支払った	者						
受取人				母又は	父・	児童	
推婚した年月日な	ど		平成	• 令和	年	月	日
養育費として受け	取った額(会和	年分)					
1月	-	円	7月				円
2月		円	8月				円
3月		円	9月				円
4月		円	10月				円
5月		円	11月				円
6月		円	12月				円
			小計				円
養育費を支払った	者			•			-
~ ,						ID -*	
受取人				母又は	父・・	児童	
	び		₩		父 •		П
と取人 推婚した年月日な	ど		平成・	・令和		児重月	日
		年分)	平成・				日
維婚した年月日な		円	7月				円
推婚した年月日な を育費として受け: 1月 2月		円 円	7月 8月				円 円
推婚した年月日な 養育費として受け 1月 2月 3月		円 円 円	7月 8月 9月				円 円 円
推婚した年月日な 養育費として受け 1月 2月 3月 4月		円 円 円 円	7月 8月 9月 10月				円 円 円
推婚した年月日な <u>養育費として受け</u> 1月 2月 3月 4月 5月		円 円 円 円	7月 8月 9月 10月 11月				円 円 円 円
推婚した年月日な を育費として受け 1月 2月 3月 4月		円 円 円 円	7月 8月 9月 10月				円 円 円
推婚した年月日な <u>養育費として受け</u> 1月 2月 3月 4月 5月		円 円 円 円	7月 8月 9月 10月 11月				円 円 円 円
推婚した年月日な <u>養育費として受け</u> 1月 2月 3月 4月 5月		円 円 円 円 円	7月 8月 9月 10月 11月 12月 小計	· 令和			円 円 円 円 円
推婚した年月日な <u>養育費として受け</u> 1月 2月 3月 4月 5月		円 円 円 円 円	7月 8月 9月 10月 11月 12月 小計	· 令和			円 円 円 円 円 円
推婚した年月日な 素育費として受け 1月 2月 3月 4月 5月 6月	取った額(令和	円 円 円 円 円	7月 8月 9月 10月 11月 12月 小計 合計 母又は父	· 令和			円 円 円 円 円 円 円 円 円 円
推婚した年月日な 養育費として受け 1月 2月 3月 4月 5月 6月	取った額(令和	円 円 円 円 円	7月 8月 9月 10月 11月 12月 小計 合計 母又は父	· 令和			円 円 円 円 円 円 円 円 円 円
推婚した年月日な 素育費として受け 1月 2月 3月 4月 5月 6月	取った額(令和	円 円 円 円 円	7月 8月 9月 10月 11月 12月 小計 合計 母又は父	· 令和			円 円 円 円 円 円 円 円 円 円

- (注) 1 認定請求の際に本申告書を提出する場合において、前年(1月から9月までの間に請求する者にあっては、前々年とする。)中に支給要件に該当するに至った場合は、その支給要件に該当するに至った日以降に受け取った額を記入してください。
- 2 上記の※の欄は、市の担当者が記入するので、記入する必要がありません
- 3 記名・押印に代えて署名することができます。

養育費等に関する申告書の記入要領

1 この申告書の目的・趣旨

・この申告書は、前年に前夫又は前妻から養育費を受け取っているのかどうか、さらに 受け取っている額を確認するためのものです。

2養育費について

- ・ 前夫(児童扶養手当の支給対象となっている児童の父。以下同じ)又は前妻(児童 扶養手当の支給対象となっている児童の母。以下同じ)から前年(1月から12月まで の1年間をいいます。ただし、1月から6月までの間に請求する人の場合には前々年を いいます。)に受給者(母もしくは父)又は児童が受け取った金品その他の経済的利益 (以下「養育費」といいます。)がある場合には、その額を記入してください。
- ・ 養育費は、児童扶養手当施行令3条により、児童扶養手当制度における所得となりますので、正確に申告してください。
- ・ 養育費の合計額の欄に記入した額を、認定請求書の③の欄、所得状況届の⑪の欄又 は現況届⑮の欄に記載して下さい。
- 養育費として含まれるのは、具体的には別紙で定めるものです。
- ・ 前夫又は前妻が複数あり、それぞれから養育費を受け取った場合には分けて記入 し、「養育費を支払った者」欄にその者の名前等を記入して下さい。前夫又は前妻が1 人の場合には、「養育費を支払った者」欄は空欄で結構です。
- ・ 「離婚した年月日」欄には、「養育費を支払った者」欄に記載した前夫又は前妻等 と離婚した年月日等、支給要件に該当するに至った年月日を記載して下さい。
- ・ 次の例を参考に記入して下さい。

養育費を支払った	0000								
受取人				母又は父 ・ 児童					
離婚した年月日	など			平成(令利	年	月	日	
養育費として受り	け取った額(令和	年分)							
1月		円		7月			10, 0	000円	
2月		円		8月			10,0	000円	
3月		円		9月			10,0	000円	
4月		円		10月			10,0	000円	
5月		10,000円		1月				000円	
6月		10,000円]	12月			10,	000円	
				小計			100,	000円	
			•					_	
養育費を支払った	た者								
			:	•					
			•						
			合計	母又は父				0円	
			ПВІ	児童			100,	000円	
上記のとおり相違ありません									
令和	5年 8月	14日							
14 111	- ,		氏名						